



学校法人 帝塚山学園
学園長

富岡 将人



帝塚山教育で洋々たる未来へ

各学校の教育連携を強化

学園教育の主役は、学生・生徒・児童・園児であり、子どもは社会の宝、我々の未来であります。

主役に寄り添い、その無限の可能性を引き出し、子どもたち一人一人を洋々たる未来に送り出していくことを私たちの使命として帝塚山教育を進めていきたいと思っています。

帝塚山学園は幼稚園から大学・大学院までを擁する総合学園です。子どもたち一人一人の想いも年齢と共に様々です。これからのグローバル社会に対応する国際化教育とICT教育、内部進学推薦制度の充実を図りながら、「一人一人の想い」が最終的に「カタチ」となり、未来へと紡いでいけるよう、各学校の教育連携を一層進め、学園の一貫性を求めていると思います。

成せばなるの精神で

江戸中期の米沢藩第9代藩主、上杉鷹山の言葉に「成せばなる 成さねばならぬ 何事も 成らぬは人のなさぬなりけり」があります。上杉鷹山は、破綻寸前であった藩を人々のために立て直したことで知られている人物であります。

私は、「成せばなる」の精神は、やってみることこそが最も大切で、「一番の失敗は何もしないことだ」と理解しています。帝塚山学園教育を精一杯、この精神で進めてまいりたいと思います。

学園創立80周年となる平成33年には、学園の弱点を克服し、「帝塚山教育を通して、変化する時代を選ばれ続ける総合学園」に向け、力強い歩みを続けていきたいと考えています。皆様のご支援とご協力をお願いいたします。

「二人一人の想いをカタチに」そして未来へ

